

Use of Endodontic Case Difficulty Assessment Form

歯内治療の難易度評価表の使用

AAE 教育者ガイド

症例の難易度評価表をより客観的な演習にするために、各難易度カテゴリ内の各アイテムにポイントスコアを割り当てることを推奨する。このポイントシステムは、教育目的でのみ行なわれており、臨床診療には推奨されない。

最小難易度カテゴリにリストされているアイテムには、ポイント値 1 が割り当てられる。

中度難易度カテゴリにリストされているアイテムには、ポイント値 2 が割り当てられる。

高難易度カテゴリにリストされているアイテムには、ポイント値 5 が割り当てられる。

以下のスコアの範囲は、治療するか紹介するかを決定する際には、次のスコア範囲が推奨される。

- ・ 20 ポイント未満：歯科学学生が治療できる場合がある。教員の監督レベルは、学生の経験レベルに合わせて調整する必要がある。
- ・ 20～40 ポイント：経験豊富で熟練した歯科学学生は、歯内治療医による厳格な監督下、または大学院生や歯内治療医に紹介されている症例で治療することができる。
- ・ 40 ポイント以上：この症例は、博士課程前の歯科学学生によって扱われるべきではない。患者は大学院生または歯内治療医に紹介されるべきである。

客観的な「ポイントスコア」の割り当ては、各学生の治療に関連する難しさを批判的に評価し、患者の最善の利益になる治療決定を下すのを支援し、学生の能力を高める教育経験に寄与できる。